

ボランティアバスで地域の交通手段を確保

問い合わせ先 市役所本庁舎交通政策室 ☎ 0857-20-3257

オーエムユー NPO法人OMU 「ふるさとバス」とは

湖山池西側の中山間地域で、地元住民がボランティアでハンドルを握り、8人乗りのバスを運行しています。バスは、2コース、週3回（1日3本）の運行で、集落と公民館や駅を結ぶ地域の貴重な交通手段となっています。

地域住民で組織するNPO法人OMU（佐々木昌彦^{ささきまさひこ}理事長）が鳥取市過疎地有償運送者補助制度を利用し、平成21年2月から本格的に運行を開始。「年寄りバス停まで2キロくらい歩いとる。集落までバスを通してもらえないか」という切実な声^{おおさと}が運行のきっかけになりました。

OMUとは運行エリアの「大郷^{おおさと}」「御熊^{みくま}」「内海中^{うちななか}」の各地域の頭文字からとったもので、「地域の繋がり」を思いに託しました。本格運行開始から、本年8月で1年半が経過。バスの名前も地域に愛され続けるよう、公募により「ふるさとバス」と命名しました。かわら版も発行し、バスの運行とともに地域を繋ぐ役割も果たしています。

～理事長の佐々木さんに、運行に当たっての思いをお伺いしました～

「運営経費、ボランティア運転手の確保など、苦勞は挙げればきりがありません。運転手も「いずれは自分もバスの世話になる、地域で支え合わないけん」という気持ちで忙しい中、運行に協力してくれています。行政のさらなる協力と、高齢化するボランティア運転手の確保など、安定した運営を模索し、将来への道筋をみんなでつけていきたい。もちろん、利用者の意見も聞きながら、「ありがとう」の声をいただける、生活に密着した「ふるさとバス」であり続けたいですね」



元気でいきいき介護予防！ 第3回

問い合わせ先 市役所駅南庁舎高齢社会課 ☎ 0857-20-3453
各地域包括支援センター・各総合支所市民福祉課（☎ 18 ページ）

「認知症を予防する、認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」をめざして

認知症は65歳以上で10人に1人、85歳以上では4人に1人にその症状があると言われています。本市における平成20年度の要介護になる原因は、認知症が2番目に多く、約2割を占めています。

＜認知症とは…＞

認知症とは、正常に発達した知的機能が、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなってしまうために低下して、生活する上でいろいろな障がいが出てくる脳の病気です。認知症の中には、治療すると治るものがあります。また、早期に治療やケアをすれば、症状を和らげたり、進行を遅らせたりすることもできます。気になることがあったら、身近な相談窓口やかかりつけ医に相談してみましょう。

●タッチパネルによる物忘れ相談

各地域包括支援センターでは、認知症の早期発見のため、タッチパネルによる物忘れ相談を行っています。これは、音声による質問にタッチパネルの画面を指で触って答える検査です。希望される人は、各地域包括支援センターにお問い合わせください。

＜認知症高齢者や家族を支援するために＞

●本人や家族を支える手立てや、応援者を増やす啓発活動

地域の方が認知症についての正しい知識を持って温かく見守り、支援していただくための出前講座（認知症サポーター養成講座）などを行っています。

●家族の心身の負担軽減のためのプログラム

話し相手や見守りを行う認知症家族やすらぎサーピスや、徘徊高齢者位置検索システム利用支援サービス（サービスの初期費用の一部助成）を行っています。

＜認知症の予防のために＞

●生活習慣を改善しましょう。

認知症の約2割を占める脳血管性認知症の予防には、高血圧や高脂血症、肥満などの生活習慣病対策が必要です。また、約半数を占めるアルツハイマー病も、有酸素運動が有効だと考えられています。運動やバランスの良い食事、生活習慣を改善しましょう。

●閉じこもらず仲間と楽しく集みましょう。

脳を活性化するには、閉じこもらずに、地域のサロンやミニデイ、老人クラブや趣味活動に参加しましょう。仲間と楽しく昔のことを話したり、手先を使う活動などをとおして、自分にできる役割を持ったり、認められたりすることで生きる意欲がわき、脳もいきいきとしてきます。

山陰海岸ジオパーク 学ぼうよ！楽しもうよ！体験しようよ！

世界ジオパーク認定の現地審査が行われました！

国内で4番目の世界ジオパーク認定をめざす山陰海岸の鳥取砂丘で、世界ジオパークネットワークの2人の委員が現地審査を行ないました。委員は、鳥取砂丘ジオパークセンターを視察した後、砂丘を歩き、ジオガイドの神近牧男かみちかまきおさんから詳しい説明を受けました。

審査結果は10月上旬頃、発表される予定です。



問い合わせ先

市役所第二庁舎鳥取砂丘・ジオパーク推進室

TEL 0857-20-3036 FAX 0857-20-3046

MAIL geosakyu@city.tottori.lg.jp

鳥取砂丘ジオパークセンターへようこそ

鳥取砂丘ジオパークセンターでは、映像や模型による鳥取砂丘の紹介「ハイビジョン・クリスタルジオラマ」や、顕微鏡を使った砂の観察などを体験することができます。解説はジオガイドが行います。

場所 鳥取市福部町
湯山 2164-661

時間 9:00～17:00
(年中無休)

料金 無料
TEL 0857-22-0021



■鳥取砂丘ジオガイド

～ごあいさつ～

私たちが2人が、みなさんをご案内します。どうぞ、お気軽にお声をお掛けください。



鳥取砂丘 Vol.4 砂の美術館通信

ティンガティンガアート展 好評開催中

場所 鳥取砂丘情報館サンドバルとっとり内

期間 10月31日(日)まで

時間 9:00～20:00

場所 サンドバルとっとり内

料金 入場無料

ほっと心が和む、のびのびとした画風。アフリカ・タンザニアで誕生した絵画「ティンガティンガ」が、サンドバルととりに集まりました。アフリカの動物や自然などを描いた100点以上の作品が展示されています。



問い合わせ先 鳥取砂丘情報館サンドバルとっとり

TEL 0857-20-2231 FAX 0857-20-2232

公式ホームページ <http://www.sand-museum.jp/>

会期：平成23年1月10日(月)まで

時間：9:00～20:00

料金：大人500円 小中高生300円

※団体割引あり、障がい者手帳など所持者無料

※天候不良などの場合を除き、会期中は無休

新しい砂像が登場！

今秋開催される、地方競馬全国協会主催「DRAMATIC3」とのタイアップで、砂の美術館内に新しい砂像が登場しました。制作者は、砂の美術館総合プロデューサーの茶園勝彦さん。写真の作品は、7月下旬から約2週間かけて制作されました。

新しい砂像は、砂の美術館の展望台広場に展示されています。

